

平成19年度予算 施策別概要

1 2 3 青少年の健全育成

12301 地域における青少年健全育成の推進(生活部)

12302 青少年非行防止・保護対策の推進 (生活部)

(主担当部：生活部)

< 施策の目的 >

(対象) 青少年が

(意図) 自立性や社会性を身につけている

< 施策の数値目標 >

施策目標 項 目 (主指標)	青少年対策活動参加者数	目標値	2010	60,000人
			2007	57,500人
		現状値		56,646人

市町や関係団体の健全育成の取組や、青少年の育成活動の呼びかけに自主的に参加した県民の人数

県の取組 目標項目 (副指標)	青少年対策活動団体数	目標値	2010	385団体
			2007	340団体
		現状値		320団体
	青少年健全育成協力店数	目標値	2010	1,700店
			2007	1,445店
		現状値		1,354店
	青少年の社会活動・地域活動参加者数	目標値	2010	18,200人
			2007	16,700人
		現状値		16,145人

< 現状と課題 >

- ・ 家庭や地域における青少年と大人の絆が希薄化しているとともに、情報通信技術の飛躍的な発達、夜型社会への移行など、青少年が有害な環境に接する機会が多くなっています。こうした中、青少年の非行や薬物乱用をはじめ、青少年をめぐる凶悪な事件、いじめや校内暴力、児童虐待が相次いでいるなど、青少年が直面する問題は深刻な状況にあります。
- ・ このため、家庭や地域における多様な主体が連携・協働しながら、青少年が社会の一員として生きていくために必要な社会規範やルール、自立性や社会性を身につけるさまざまな体験機会の提供や有害環境から青少年を守るための取組を一層推進していく必要があります。

< 平成19年度の取組方向 >

青少年の規範意識や社会性を醸成し、健全な育成をはかるため、「地域の子どもは地域で育てる」という考えのもと、市町民会議をはじめとした家庭、学校、地域、NPO、関係団体、市町など多様な主体と連携・協働し、家庭や地域における青少年と大人の絆を強めていきます。地域自らが取り組む、青少年がさまざまな体験や活動を行える機会や場の提供と充実と定着

をはかるとともに、青少年、特に中・高・大学生が、自ら青少年育成の担い手となる活動を支援します。

青少年に有害な環境の浄化を進めるため、関係業界の協力を得ながら、青少年健全育成条例の適正な運用をはかるとともに、青少年に身近な地域団体、学校、警察などの連携を一層強化して、多様な非行防止活動および青少年が被害者となる事件や事故の未然防止活動を推進する体制づくりと情報発信を行います。

<主な事業>

(舞)自分発見!中学生・地域ふれあい事業

【基本事業名:12301 地域における青少年健全育成の推進】

予算額: 11,146千円 9,406千円

事業概要:地域ぐるみで中学生の職場体験事業を実施し、生徒の「生きる力」を育むとともに、地域において「地域の子どもは地域で育てる」という気運を高めます。

(新)青少年健全育成・地域住民活動者養成事業

【基本事業名:12301 地域における青少年健全育成の推進】

予算額: -千円 1,699千円

事業概要:地域において非行防止活動を推進していく専門的知識を持った人材を養成し、非行防止の意識を青少年・保護者・地域等に広げることにより、地域の主体的な青少年健全育成の取組を促進します。

大学生による青少年健全育成活動支援事業

【基本事業名:12301 地域における青少年健全育成の推進】

予算額: 916千円 588千円

事業概要:大学生世代の若者が、地域においてさまざまな青少年健全育成活動に参加できる機会づくりとその活動支援を行い、参加する若者自身の社会性等を高めながら、若者の感性を生かした効果的な育成活動につなげます。

青少年の生き生き創造力活用事業

【基本事業名:12301 地域における青少年健全育成の推進】

予算額: 2,717千円 2,478千円

事業概要:高校生世代の青少年の有する創造力や柔軟な発想を青少年健全育成条例の啓発や非行防止活動に生かした、青少年自身による健全育成の取組を支援することにより、青少年の自立性や社会性を育成するとともに、地域における健全育成の意識醸成をはかります。

(新)青少年を取り巻く有害情報対策事業

【基本事業名:12302 青少年非行防止・保護対策の推進】

予算額: -千円 980千円

事業概要:インターネット上の有害情報対策を進めるため、情報教育を推進する団体等の協力を得て、県、県教委、関係団体等が連携して「保護者のための情報環境講座」を実施し、情報モラルの普及・徹底をはかります。